

## “ゲノムドクター&キャスター”セミナー

「2016年には日本人の2人に1人はガンになるだろう」との予測がなされています。

ところが、最先端医学の技術を用いても、全てのガンを完治させるには未だ至っておらず、ガン罹患者の多くは「残りの人生を再発の恐怖と戦いながら送る」という、残念な生涯を送ることを余儀なくされています。

このような現実を踏まえ、今、求められているのが、罹ってから“ガンを治療する”のではなく、可能な限り“ガンに罹らない”生活を実現することなのです。

皆様もご存知のように、現在では最先端科学・医療情報のヒトゲノム遺伝子解析技術を用いて血液中の遺伝子やたんぱく質等を解析することにより、それぞれの部位のガンに罹る可能性（予測）を数値として表すことや、罹患したとしても、個人によって異なる抗がん剤の有効性や副作用を比較的高い確率で予測することが可能になってきました。

そこで、私は、このような時代の要請に応える為、最先端のゲノム医療情報を活用し、具体的、且つ効果的な未病（みびょう）の予防医療対策に取り組むことを目的として、我国初となるゲノム検診専門クリニックを昨年11月に「ホテルニューオータニ（東京・赤坂）」内に設立致しました。

更に、これと平行した形で最新の予防情報を医療関係者に提供し、日常の医療活動に有効活用して戴く事を目的とした「臨床ゲノム医療研究会」を我国のゲノム研究の第一人者達（村松正實：東京大学名誉教授、他）と共に設立し、ヒトゲノム遺伝子解析技術を「全国民のための医療」として普遍化するための活動を進めております。

本日ご案内する「“ゲノムドクター&キャスター”セミナー」は、ヒトゲノム遺伝子解析技術の基礎知識と、その応用技術を駆使し「病気（ガン、脳梗塞、高血圧、糖尿病、など）に罹らない」ことを目指した次世代の医療で日本の健康をリード出来る「ゲノム専門医」の育成を目指して株式会社メディファクトで開催いたします。

時節柄ご多忙の折とは存じますが、ご参加賜りたくご案内申し上げます。

2010年11月吉日

臨床ゲノム医療研究会 理事長  
東京大学 名誉教授  
クリニック MIRAI イン ニューオータニ 名誉院長

渥美 和彦

ゲノム ドクターズ クラブ/GDC